

23. 令和2年度大分県高等学校新人ホッケー競技大会実施要項

- 1 期 日 令和 2 年 10 月 17 日 (土) 15 : 00 ~ 試合開始
- 2 会 場 メルヘンの森スポーツ公園
- 3 競技規則 2020年度(財)日本ホッケー協会編「ホッケー競技規則」に準ずる。
- 4 競技方法 (1) トーナメント方式で実施する。
(2) 試合時間は1ピリオド15分で4ピリオドからなるクォーター制とする。
1Pと2P並びに3Pと4Pの間2分。2Pと3Pの間は10分間の
休憩時間をとる。
(3) 上記の結果、引き分けの場合は、SO戦とする。
- 5 参加資格 「令和2年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 6 参加制限 1チームは監督1名、引率責任者1名、選手15名以内とする。
- 7 参加申込 (1) 締切日 令和 2 年 10 月 16 日 (金) 必着

(2) 方 法 所定の用紙は高体連ホームページから入手し、下記の方法で期限内に行う。
ア. 申込書様式により、男女を別紙で作成し、各1部印刷(要捺印)して、
下記宛に郵送する。

(3) 宛 先 〒879-4403 玖珠郡玖珠町帆足160 玖珠美山高等学校内
専門委員長 高橋 伸介
- 8 参加同意書 大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を提出すること。
- 9 参加負担金 選手(補欠を含むエントリー)1人、加盟校600円・非加盟校1000円。
大会当日の受付で納入する。
- 10 連絡事項 参加校が男女各1チームの場合は、男子チーム、女子チームで試合を行う。
- 11 感染症等の
対策 (1) 感染症等の対策については、別紙に挙げる留意事項を遵守すること。
(2) 競技中の傷病など緊急時の対応については、救急体制に従って行動
すること。

感染症等の対策に関する留意事項について

1 選手・役員・補助員・引率者・観客 共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書及び体調チェック票を提出すること。
役員・引率者についても体調チェック票を提出すること。
- (2) 気温が高い中での大会であること及び運動不足が考えられるため、突発的な傷病等に十分留意すること。熱中症予防のため、こまめな水分補給をすること。
- (3) 発熱など風邪の症状が見られる時は参加を見合わせ、自宅及び宿舎で休養させること。
以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ア. 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ. 同居家族や身近な知人に感染の疑われる方がいる場合
 - ウ. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (4) 会場内に入る生徒（競技中以外）・競技役員・補助員・引率者・観客等は、必ずマスクを持参し、装着すること。また、人との距離をできるだけ2m保つこと。ただし、熱中症予防の観点で、屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できる場合はマスクを外すこと。屋内でも息苦しさを感じたときは、喚起や人と十分な距離を保つなどの配慮をしたうえでマスクを外すこと。
- (5) 会場の各所に液体石鹸や手指消毒用液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。
- (6) 同チーム内での飲料水等の回し飲みやタオルやコップ等の共用はしないこと。
- (7) 大会期間中は、大きな声での会話、応援等をしないこと。
- (8) 競技に使用する共用の用具等については、大会事務局で消毒を行うが、チーム内の用具は各指導者が責任をもって消毒すること。
- (9) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守し、競技会場内では、大会事務局（係員）の指示や誘導に従うこと。
- (10) 会場図の導線に従って移動を行うこと。（立入禁止区域などがあるので注意すること）
- (11) 感染防止の観点から、ごみについては各学校または個人で持ち帰ること。
- (12) 各チーム責任者は、保護者（応援者）の名簿などを作成し、事前に事務局へ提出すること。
- (13) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会事務局及び日本ホッケー協会に対して速やかに報告すること。

2 当日の参加受付時の留意事項

- (1) 受付には、手指消毒剤を設置しているので、必ず消毒を行うこと。
受付時だけでなく、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行うこと。
- (2) 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合は入場しないこと。
受付時、体温を測定するので協力すること。状況によっては、入場を制限することも考えられる。
- (3) 受付を待つ間は、距離をおいて（できるだけ2mを目安に）並ぶこと。
- (4) 当日入場を認める者は、事前に各チーム責任者から提出された保護者（応援者）の名簿に記載のある者のみを認める。

3 大会における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

【 大会本部 】

- ・大会事務局で消毒液を用意し、会場内へ設置する。
- ・会場内のトイレに液体せっけんと消毒液を設置する。
- ・ベンチやテント等は、利用時間や利用人数を制限する。
- ・更衣室、クラブハウス等はこまめな換気を行うが、使用は禁止とする。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分する。
- ・飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。
- ・ごみは、各学校または個人で持ち帰ってもらうことを呼びかける。
- ・観客席は、前後左右十分な距離を空けて利用する。

【 選手・役員・引率者・保護者等 】

《密閉》

- ・更衣室、クラブハウス等は、役員以外は使用しないこと。
- ・ベンチやテント等は、利用時間や利用人数を制限する場合もあるので注意すること。
- ・トイレの窓、通路の扉については、開放しておくこと。

《密接》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は、飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m保つこと。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどの身体接触は避けること。
- ・飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。

《密 集》

- ・競技役員、補助員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離を保つこと。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分しているので注意すること。
- ・競技前、競技中の円陣を作らないこと。
- ・競技前、ハーフタイム時はベンチで一定の距離をとって座ること。
- ・競技前、競技終了後の整列については、一定の距離をとって整列すること。
- ・昼食、休憩についても周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにする

4 その他の留意事項

- (1) 移動時においても感染予防に努めること。
- (2) 原則として、競技もしくは補助員が終了後は、速やかに帰宅（帰宿）させること。
- (3) 気温・湿度が高くなる時期であることを踏まえ、熱中症対策も十分に講じること。
- (4) 飲みきれなかったスポーツドリンク等を通路や駐車場などに捨てないこと。
- (5) 会場内において、唾や痰を吐くことは極力行わないこと。
- (6) タオルやハンカチの共有はしないこと。
- (7) その他、大会事務局が定めたことに従うこと。